

●ライディングポジション

初代PCXから受け継がれるPCXシリーズの魅力である、ゆったりとしたライディングポジションによるワンランク上の乗車感を目指し、フレームを構造変更、フロント/リアタイヤをワイド化しながら、従来モデルと同等のライディングポジションを保ちました。

また、従来モデルに対しフットスペース平面部を車体前方向へ拡大したフロアステップと、従来モデル同等のライダーの着座位置の自由度が高いシートによる相乗効果は、より自由度の高いライディングポジションを実現しています。

●ラゲッジボックス、ACCソケット付きインナーボックス

ラゲッジボックスの容量を28L^{*1}へ拡大させました。ボディカバーの幅を従来モデル同等に保ちながら、シートレールを、従来モデルに対し細いパイプを採用することで車体外側へ広げ、かつリアクッションの位置を車体後方へ変更しました。また、オーナーズマニュアルと車載ツールの設置を、従来モデルのラゲッジボックス後部からシート裏側へ移動^{*2}しました。これらにより、ラゲッジボックス内のスペースをより効率よく使用していただけます。

ACCソケット付きインナーボックスは、従来モデルに対しインナーボックスリッドの上端部を延長し、インナーボックス内の荷物を、より確認しやすくしました。また容量は、従来モデル同等としています。

※1. Honda調べ ※2. 特許出願中



■ラゲッジボックス(PCX)



■ACCソケット付きインナーボックス(PCX)